

サンヒルぎよたけ・グループホーム太陽の丘 ～職場環境要件～

令和8年4月17日更新

	項目	当施設の取組
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針・その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念、各事業所毎の理念やケア方針を基に、各事業所、各部署ごとに年度目標を立案し、各部署毎の事業計画を立案している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	研修機関での初任者・実務者研修を働きながら受講できるようにしている。基本給の中に年齢給を設定している。その人に合った業務ができるように「介護助手」を配置している。
	職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	地域の地区行事の参加、民生児童委員の会議への参加、まちづくり協議会主催の活動への参加、ボランティア連絡協議会等と共同で行事を企画・運営している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファースト・ステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	認知症関連資格の研修や全国老人保健協会主催の修了書等が交付される研修に毎年、研修毎に1名以上参加している。長期受講研修、実習受入、産育休の代替職員は派遣会社等と契約し、時期や業務内容（介護助手）など派遣や有期雇用している。喀痰吸引研修では、施設内で研修制度を実施しており、昨年度は3名が修了しています。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	施設、各部署、各自の目標設定に応じて施設から業務として研修の受講を行っている。資格（取得）により賃金表が決定する賃金規定と人事考課規定になっている。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	同法人の病院内に24時間の託児所があり利用できる。育児休暇規定があり、所定労働時間の短縮より就業している職員もいる。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定め、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	全職員に、年に1回7日間連続休暇取得（リフレッシュ休暇）を推奨している。その休暇にて有給休暇を使用して頂くことを施設長・所長からの声かけにて職員へ所得できるように推進している取組を実施している。
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	コンプライアンス小委員会を設置し、メンタルヘルス等の職員の相談窓口を設置できる体制としている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	緊急時も含めた事故・トラブルに対しての対応マニュアルがあり、各部署にもマニュアルの作成がされている。
生産性向上のための業務改善の取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている	生産性向上推進委員会を立ち上げ、生産性向上ガイドラインに基づき、介護ロボットや介護ソフト等の導入を検討しながら業務改善に向けて取組を行っている。
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	「ほのほnext」を導入し、タブレット端末を活用し、入所・通所・認知症対応型にて記録システムのICT活用を行い業務量の軽減を図っている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	入所、通所では、職員がインカムを導入し所等での確認や連絡等もスムーズに行うことができる。また入所では、眠りScanを40台導入しており、利用者の状態を確認しながら対応できることで業務効率を図っている。記録や報告様式に関しては、「ほのほnext」を導入し、タブレット端末やPCにて記録や申し送りを行うことで作業負担の軽減や情報共有を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	月に1回、部署内での会議があり、その中で上がった課題は全体会議にて上げられる流れとなっている。ミーティングではグループワークの時間を設定し、課題解決に全員で取り組んでいる。
	地域包括ケアの一員としてモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域の支援学校が定期的に来訪してくれている。地域の地区、民生児童委員、まちづくり推進委員会、ボランティア連絡協議会等と共同で行事を企画。運営している。年に1回秋祭りを開催しており、地域住民の方々や児童も参加されている。